



2020年度 国際センター写真コンテスト 最優秀賞作品

News letter vol.47

April 1, 2021



Stretch yourself!

国際センター所長・経済学部経営学科教授 ディミトリ・リティシェフ

Stretch yourself! これは私がよく大学生に言うアドバイスです。在学中に色々なチャレンジを通じて自分を伸ばす学生は、卒業後もより面白く、より豊かなライフパスを歩むはずだからです。様々なストレッチ方法がある中、海外に渡って現地ですばらしく暮らしてみようというのは一生忘れられない経験になります。観光旅行と比べ物にならない程、実際に外国に住むことによって外国のことはもちろん、日本の長所と短所についても学ぶことができるからです。そして、帰国後には、自信が前より高く、思考が広く、フットワークが軽く、頭の回転が速くなったと感じるはずでしょう。これが世界と向き合って活躍するグローバル人材への大きな一歩にもなるのです。

学習院大学では現在、世界の67の大学・機関と大学間協定を結び、その多くの大学に毎年学生を一年間または半年間派遣しています。この協定留学では、留学期間を在学年数に算入することができます。また、留学先で修得した単位を一定の条件の下で本学の単位に認定することも可能です。協定留学以外にも、色々な留

学タイプがあり、自分のニーズに合わせた留学を企画できます。

ところで留学するためには、やはり最低限の語学力が求められます。受け入れ大学によっては、英語ではTOEFL iBT®やIELTS™などの試験において一定の得点が必要になります。そこで、本学の外国語教育研究センターが提供している授業を通じて語学力を磨き、試験の得点を上げることができます。また、オンラインでネイティブスピーカーとつながり、会話を練習するのもよいでしょう。

実際に留学するためには、語学以外にも、様々な準備が必要です。国際センターでは、経験の豊かなスタッフが皆さんの相談に対応し、留学のお手伝いをしています。留学を決めている人だけでなく、留学に関心を持っている人は、気軽に国際センターを訪れてみてください。



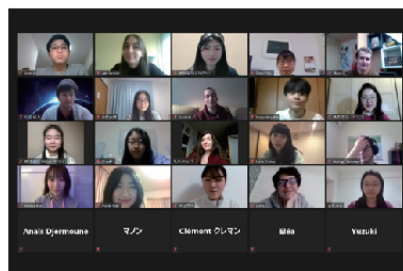
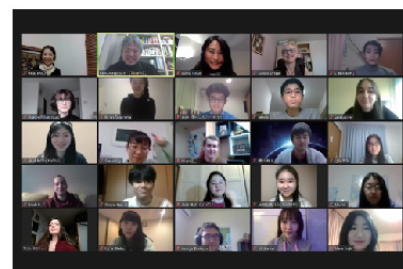
学習院—アルザス欧州日本学研究所連携プログラムの活動紹介

2020年度2学期に、学習院—アルザス欧州日本学研究所連携プログラムが実施されました。今回で8回目となりますが、新型コロナウイルス流行の影響によってオンラインによる初めての実施となりました。

この研修は主に、アルザスの文化・社会・歴史などに関する研究者や日本総領事によるフランスからのオンライン講演会への参加と、日本について研究をしているストラスブール大学の学生との研究交流の2つで成り立っています。研究交流では、学習院の21人の学生がグループに分かれて日本文化や社会に関するテーマを設定し、英語または日本語による発表を行いました。

学習院の学生が研修に参加した動機は様々でした。最初は、海外研修として成り立つのか疑問に思っていた参加者もいましたが、面白そうだし時間的に受講できるから気軽に応募した、家にいながら海外の人と交流ができるのはとても魅力的、さらに費用をかけずに参加することが出来るから、という声もありました。

最後に提出してもらったレポートからは、アルザスの文化や歴史を深く知ったこと、オンライン交流会での発表・準備を通じてZoomでの交流やプレゼンテーション技術が向上したことが分かりました。また双方向での研究交流会や準備を通じて、日本とフランス双方の同年代の学生から多くを学んだこと、語学習得や日本の文化を学びたいという意欲が強まったこと、有意義な話し合いができて自信につながったという感想もありました。もちろんオンラインでは物足りない面もあったことから、ぜひ現地を訪れたいという来年以降の希望にもつながりました。



研究交流会での様子



春季短期研修 実施報告

国際センターでは、毎年夏・春の長期休業期間中に、さまざまな国・地域で短期研修を実施しています。令和2(2020)年度の春季休業期間中はオンラインによる3プログラムの募集をし(うち1プログラムは不催行)、9名の学生が参加しました。各研修に参加した学生からの感想を掲載します!



春季英語研修<オンライン>

アメリカ・ミズーリ州立大学

<参加5名>

日程: 2021年2月16日(火)
～ 3月5日(金)



三週間という短い期間での研修となりましたが、内容としては非常に濃いものであり、先生とのコミュニケーションはもちろん、現地の学生との交流や様々な施設の方をお呼びしてのVirtual Tourは非常に魅力的なイベントでした。オンラインの強みを活かした充実した短期研修となりました。(経営学科2年 堀川雄一朗さん)



春季英語研修<オンライン>

イギリス・ヨーク大学

本学協定校

日程: 2021年2月1日(月)
～ 2月19日(金)

(催行人数に満たなかったため実施取り止め)



春季中国語研修<オンライン>

台湾・淡江大学

本学協定校<参加4名>

日程: 2021年3月8日(月)
～ 3月19日(金)



初めてのオンライン研修、授業中はすべて中国語ということもあり不安でしたが、あっという間でした。授業は先生が一方向的に話すというよりも、生徒の発言する機会が多いので、中国語で会話できた達成感と高揚感を味わえます。中国語を学ぶ楽しさを再確認できる研修になりました。(法学科2年 望月静華さん)



令和3(2021)年度夏季短期研修の実施について

海外協定校および国内英語教育機関で以下のとおり実施予定です。長期留学を検討している方や、海外未経験の方も、短期研修から参加してみませんか?

プログラム種別	研修先・研修名(国)	募集人数	言語
グローバル・キャンパス・ヨーロッパ	アルザス欧州日本学研究所(フランス・アルザス)	20名	—
	ヨーク大学(イギリス・ヨーク)	30名	英語
	フライブルク大学(ドイツ・フライブルク)	20名	ドイツ語
	フランシュ・コンテ大学(フランス・プザンソン)	20名	フランス語
グローバル・キャンパス・アジア	復旦大学(中国・上海)	20名	中国語
	東呉大学(台湾・台北)	15名	中国語
	高麗大学校(韓国・ソウル)	15名	韓国語
夏季語学研修	タルトゥ大学(エストニア・タルトゥ)	10～15名	英語
	プリティッシュヒルズ(日本国内・福島)	30名	英語
	東国大学校(韓国・ソウル)	15名	韓国語

※海外短期研修の募集時期・日程の詳細は随時国際センターホームページ、G-Port及び掲示で公示致します。



新たに協定を締結しました

この度、学習院大学では新規に下記の大学と大学間協定を締結しました。現在もいくつかの大学と協定締結の協議を行っています。



ヴィリニウス大学

リトアニアの首都ヴィリニウスに所在する国立総合大学で、キャンパスの多くはユネスコ世界遺産に登録された旧市街に位置しています。本学として同国初の協定校となりますが、同大学とは学生交換を含む協定を締結したため、本学の国際化に多様性をもたらすことが期待されます。

- 創 立: 1579年
- 所在地: リトアニア ヴィリニウス
- 学生数: 19,996人 (2018/2019)
- 学部等: Chemistry and Geosciences, Communication, Economics and Business Administration, History, Law, Mathematics and Informatics, Medicine, Philosophy, Physics, Institute of International Relations and Political Science 等



アルカラ大学

大学のあるアルカラ・デ・エナーレスは、ユネスコ世界遺産に登録されており、3つあるキャンパス内にも、歴史的な建築物が散見されます。国際交流も盛んで、英語による授業も開講されており、4,800名の留学生が学んでいます。その中500名余りが交換留学生となっています。

- 創 立: 1977年
- 所在地: スペイン アルカラ・デ・エナーレス
- 学生数: 約 29,000人 (2019)
- 学部等: Law, Economics, Business and Tourism, Philosophy and Arts, Education, Sciences 等



ヴィリニウス大学

アルカラ大学



ディクシー州立大学

ユタ州に所在する中規模の公立大学です。同大学とは、今回締結した大学間協定を基にして、学生交換協定の締結についても交渉しています。

- 創 立: 1911年
- 所在地: アメリカ ユタ州
- 学生数: 11,193人 (2019/2020)
- 学部等: Arts, Business, Education, Health Sciences, Humanities & Social Sciences 等



ディクシー州立大学



留学生のためのイベント

【霞会館教育助成金事業】

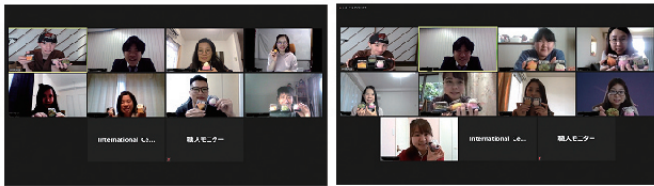
毎年、国際センターでは霞会館にご助成いただき、留学生が日本の伝統文化に触れる機会を提供するため10月に「秋の留学生バス旅行(日帰り)」、12月に「文楽鑑賞教室」を開催していました。しかし、今年度はコロナ禍のため中止といたしました。代替として令和2(2020)年11月25日(水)に「和菓子作り体験教室(遠隔)」を、12月1日(火)に「江戸風鈴絵付け体験教室(遠隔)」を、12月11日(金)に「華道(生け花)体験教室(遠隔)」を開催いたしました。



「和菓子作り体験教室(遠隔)」の実施

福井県で300年以上続く老舗和菓子店の職人さんから遠隔で指導を受けながら、秋の上生菓子《紅葉(もみじ)・菊の着せ綿(きくのきせわた)・栗拾い(くりひろい)》の3種類を作成しました。体験教室では、自己紹介やボランティア学生の和菓子にまつわる思い出やエピソード・留学生からの職人さんへの質問などで、会話が弾むなか、悪戦苦闘しながら上生菓子を作っていました。

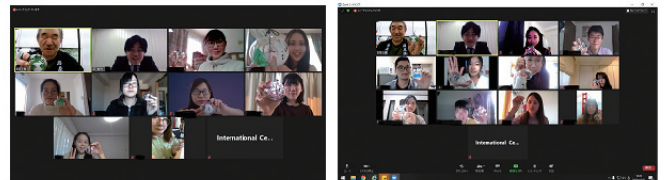
身近な和菓子ではありますが、今回の体験を通して、作り方だけではなくその中の奥深さも知ることができ、日本文化に触れたひと時を皆で過ごせました。



「江戸風鈴絵付け体験教室(遠隔)」を実施

現在、製作を継承しているのは2件だけとなっている希少な江戸風鈴は、透明なガラスの風鈴に内側から絵付けをします。職人さんから伝統的な絵柄の説明や描き方の指導を受け、学生は自分の描きたい絵柄の描き方を質問しながら思い思いの風鈴を作成しました。

風鈴は古来から良い気を運ぶものとして、1年を通して吊るさるそうです。風鈴が良い気を運んでコロナが早く収束してくれるのが待ち遠しいです。

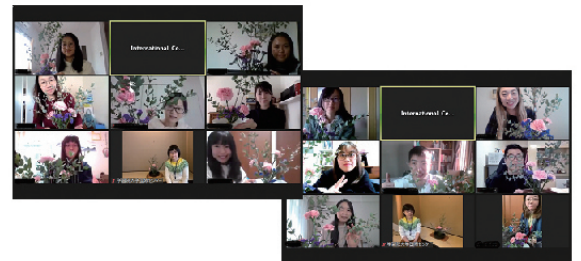


「華道(生け花)体験教室(遠隔)」の実施

この企画は、留学生が日本文化に触れる機会をつくり、また日本人学生と交流する機会をつくる目的で実施されました。講師は、国際センター職員で御室流華道の師範の免状をもつスタッフです。

日本文化の草花との関わりや、華道の歴史、フラワーアレンジメントとの違いなどを説明した後に実践しました。国際センターから学生に配送したユーカリの枝・カーネーション・スターチス・剣山と、それぞれ自分で用意した花器(フライパンの人も)を使って挑戦しました。

参加者は初めて華道を体験する人がほとんどで、皆作品作りを楽しんでいました。



令和3(2021)年度もコロナの収束状況にもよりますが、国際センターでは、留学生バス旅行(5月及び10月)、歌舞伎、文楽の各鑑賞教室(6月、12月)その他、日本の伝統文化に触れる学外研修や体験教室といった留学生向けの交流行事を実施する予定です。



海外協定校からの留学生

令和3(2021)年度4月から留学を開始する協定留学生をご紹介!

受入学生		協定校	受入学科・専攻	受け入れ期間
MANALO, RUTH ANN CADORNA	マロナ ルース アン カドナー	イーストアングリア大学(イギリス)	日本語日文学科	1年間
JINASENA, LAKSHITHA KAVIN	ジナセナ ラクシタ カビン	オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)	日本語日文学科	1年間
HEINRICI, ISABELLA	ハインリチ イザベラ	ザルツブルク大学(オーストリア)	ドイツ語圏文化学科	1年間
CROSSMAN, RHYS ALUN	クロスマン リース アルン	エディンバラ大学(イギリス)	国際社会科学科	半年間
GILBERT, AIDAN PHILLIP	ギルバード エイダン フィリップ	エディンバラ大学(イギリス)	国際社会科学科	半年間
WALIGORA, MARIANNE ISABELLE	ワリゴラ マリアンヌ イザベル	パリ第十大学(フランス)	国際社会科学科	1年間
SIBIO, LUCA	シービオ ルカ	トリノ大学(イタリア)	日本語日文学専攻	半年間



令和3(2021)年度第1学期以降の募集・お知らせ

令和4(2022)年度 第1期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度5月頃、2022年度第1期協定留学プログラム(留学期間:2022年4月～翌年3月/派遣先:アジア・オセアニア)の募集を行います。

募集要項は国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。国際センターのホームページでも報告書を公開しておりますので、ぜひご利用ください。

(<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/message-fromsenior.html>「留学した先輩からのメッセージ」をご確認ください)

チャットルーム2021 ～ネイティブ・スピーカーと話そう!～

国際センターでは、協定・私費留学生など外国語のネイティブスピーカーを交えて外国語のみで会話を楽しむチャットルームを、定期開催しています(試験期間、長期休業期間を除く)。学内で外国語のみで会話ができるチャンスです。この機会を積極的に活用し、奮ってご参加ください。実施予定は国際センターホームページやG-Port 及び掲示等でお知らせします。

TOEFL®攻略コース及びIELTS™対策講座

国際センターでは、英語圏への留学を目指す学生の支援として、TOEFL®攻略コース及びIELTS™対策講座を開講しています。詳細は4月以降、国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。

- TOEFL®攻略コース(5月開講予定):e-learningによる対策講座
- IELTS™対策講座(9月上旬開講予定):ネイティブの講師によるテーマ別授業

令和3(2021)年度 留学フェアのお知らせ

国際センターでは、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談できるよう「留学フェア」を年2回(第1回は6月、第2回は10月)、開催しています。

フェア期間中は、留学経験者による報告会や個別相談会、「チャットルーム」など、日替わりのプログラムを用意します。自由に参加できますのでお気軽にお越しください。

詳細は、国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。

令和3(2021)年度の基礎教養科目について

国際センターでは、学生の皆さんに、海外の言語・文化・社会などについての知識を深めていただくため、通常の授業期間や長期休業期間に以下の基礎教養科目を開講しています。

「海外フィールド研修:欧州・日本研究(GCE)」(学習院・アルザス欧州日本学研究所連携プログラム)
「海外フィールド研修:東アジア研究・上海(GCA)」(復旦大学研修)
「海外フィールド研修:東アジア研究・台北(GCA)」(東呉大学研修)
「海外フィールド研修:東アジア研究・ソウル(GCA)」(高麗大学校研修)
「海外語学研修:英語(GCE)」(ヨーク大学研修)
「海外語学研修:ドイツ語(GCE)」(フライブルク大学研修)
「海外語学研修:フランス語(GCE)」(フランシュ・コンテ大学研修)
「国際社会とは?—21世紀の地球人であること—(GCA)」
「多文化共修(A):グローバル・キャンパス・アジア東京(GCA)」
「多文化共修(B):東京の国際化(GCA)」

受講を希望する方は、本年度のシラバスを確認してください。



海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも国際センターホームページ、G-Port、掲示等により確認してください(独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります)。詳細は、所属の学部学科事務室にお問い合わせください。

※①～⑤の内容はいずれも予定です、必ず最新情報を確認してください。

①学習院大学海外留学奨学金

応募条件	「留学願」が承認されて渡航する者
奨学金額	1名につき年間40万円以内(給付)
採用予定数	延べ80名程度
募集時期	年2回(6月、12月)書類審査

2021年度に留学を開始する方を対象とした第2回の募集(6月)については、募集要項を5月に国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です。なお、本奨学金を受給した先輩方の留学報告書(協定留学・協定外留学)が、国際センターにて閲覧できます。

②学習院大学海外短期研修奨学金

応募条件	夏季・春季休業中に3週間以上の海外語学研修・短期研修に参加する者
奨学金額	1名につき7万円以内(給付)
採用予定数	年間170名程度
募集時期	年2回(9月および2月)書類審査

③学習院大学北米等への留学促進奨励金

応募条件	本奨学金対象の国際センター主催夏季・春季語学研修に参加する者
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	夏季10名・春季10名程度
募集時期	年2回(9月および2月)書類審査

④学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学のための語学能力試験を受験する者
奨学金額	1名につき1万円以内(給付)
採用予定数	年間80名程度
募集時期	年2回(7月および1月)書類審査

⑤大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	海外で開催される研究集会等で発表を行う大学院生(共同発表を含む)
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	年間45名程度
募集時期	年1回(4月～翌1月)書類審査

April 1, 2021 vol. 47
News letter

発行日/2021年4月1日
編集・発行/学習院大学国際センター

〒171-8588 東京都豊島区目黒1-5-1
TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/>
([学習院 IC]などで検索してもヒットします)
<https://www.facebook.com/ic.gakushuin.ac.jp>

※掲載された学生の所属は、
令和3年3月15日現在のものです。

編集
後記

表紙の写真は、英語英米文化学科 嶋村 萌さんの作品で、国際センターが実施した「2020年度国際センター写真コンテスト」にて、最優秀賞に選ばれました。

例年は、直近1年間で留学に行った際の写真を同コンテストの応募対象としていましたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響により海外への渡航が制限されていたことから、過去に経験した海外旅行先や留学先で撮影した心に残る写真を募集したところ、前年度の倍となる、80点もの作品の応募をいただきました。

「たゆまぬ沈み」—どんなに困難な状況の中にあっても、必ずいつか嵐は過ぎ去り、再び前に進める。

セーヌ川を目の前で見た時、パリの市の標語であるこの言葉に込められた意志の強さに勇気をもらえたそうです。

コロナ禍で海外への渡航が滞りない日々が続いていますが、新型コロナウイルスが収束し、海外渡航を再開できる時が早く訪れるよう、願っています。

■国際センター運営委員 令和3(2021)年度

運営委員長	ディミトリ・リリチシェフ (国際センター所長)
運営委員	庄司 香(法学部)
運営委員	椋 寛(経済学部)
運営委員	平田 一郎(文学部)
運営委員	渡邊 匡人(理学部)
運営委員	山崎 泉(国際社会科学部)
運営委員	三井 清(副学長)
運営委員	村主 道美(学生センター所長)
運営委員	杜 長俊(国際センター)
運営委員	杉田 稔(国際センター事務室課長)

※本紙掲載内容は、2021年3月15日現在のものです。